

—第 150 号記念—

NewsLetter

自治医科大学地域医療オープンラボ



Vol.150,Oct,2019

地域医療オープンラボ News Letter 150 号を祝して

自治医科大学 学長 永井良三

地域医療オープンラボ News Letter が、2006 年 5 月以来、150 号となりました。地域医療オープンラボは社会人枠で入学する大学院生の研究活動をサポートし、指導教員との間のコーディネート活動をするために設置されました。ラボでは臨床研究や疫学研究が検討され、学内外の研究者が共同研究・開発を行う場として多くの成果を挙げてきました。News Letter はその成果を発信することによって、地域医療に還元する役割を担っています。実際、ホームページには地域医療に従事する医師にわかりやすく研究が紹介されており、一瞥するだけで自治医大の代表的研究の歴史を俯瞰できます。



働きながら学ぶことは容易ではありません。とくに地域医療に従事してから研究の道に入ると、慣れない用語や概念に戸惑うことが多いと思います。それでも研究しようという心意気は多くの人々を感動させ、少しでも支援したいという気持ちを掻き立てます。

最近の医学研究は大型化が進んでいます。これは解析機器が進歩し大量のデータが生まれるようになったことによりますが、医学研究が現場の臨床データを対象とする時代になったことも一因です。研究の手法も従来の生理学、病理学、分子生物学、疫学などの専門分野に限定せず、異なる領域の研究手法と考え方を取り入れるようになりました。昔とは大きく様子が異っていますが、自治医大ならではの強みを発揮するチャンスでもあります。

こうした時代であればこそ、地域医療オープンラボは多くの情報を提供し研究者間の交流を促す必要があります。またその活動を通じて自治医科大学の地域医療オープンラボは日本の医科大学の新しい姿を提示することができます。研究者の Transdisciplinary な広場として、地域医療オープンラボと News Letter がこれからも発展されるようお祈りいたします。

[発行]自治医科大学大学院医学研究科
地域医療オープンラボ運営委員会
事務局 大学事務部学事課 〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1
TEL 0285-58-7477 / FAX 0285-44-3625 / e-mail openlabo@jichi.ac.jp
<https://grad.jichi.ac.jp/>

地域医療オープンラボ NEWS LETTER (2006年5月～) (敬称略)

<http://www.jichi.ac.jp/openlab/newsletter/newsletter.html>

- Vol. 150 地域医療オープンラボNews Letter150号を祝して 永井良三学長
- Vol. 149 よし、学位を取ろう！-救急搬送患者データをみえる形(論文化)に 吉永亮
- 特別号 精子ができないマダラカの作出に成功 山本大介
- Vol. 148 地域現場での論文作成 遠藤健史
- 特別号 神経膠腫の網羅的メタボローム解析から脂肪酸代謝の役割を解明 宮田五月
- Vol. 147 CAR-T療法開発に対する我々の取り組み 内堀亮介
- Vol. 146 人と人との繋がりから多施設共同研究へ 根本大樹
- Vol. 145 “オープンアクセスジャーナル”って知っていますか? 高橋将文
- Vol. 144 義務年限中に論文を書く意味 村岡辰彦
- 特別号 手の振りが赤ちゃんの学習を促すことを発見 平井真洋
- Vol. 143 地域医療から国連機関へ 高橋香
- Vol. 142 自治医科大学における卒後のワークライフバランス支援-取り組みと調査結果 牧野伸子
- 特別号 小児・AYA世代の白血病に有効な治療薬を発見 菊池次郎
- Vol. 141 地域からの発信 渡邊祐介
- 特別号 腹壁形成機構や膈帯ヘルニア病態の解明に有効なモデル動物の構築 高橋将文
- 特別号 C型慢性肝炎疾患の克服を目指して 三浦光一
- Vol. 140 基礎研究から学んだこと 安食孝士
- Vol. 139 地域医療からの情報発信 藤原健史
- Vol. 138 がんの分子疫学研究について 鶴飼知嵩
- Vol. 137 小林英司客員教授が初代Lars-Erik Gelin賞に選ばれました 水田耕一
- Vol. 136 社会人大学院を終えて～つれづれなるままに 貝原俊樹
- 特別号 医療用麻薬の痛み止め効果を高める方法を発見 奥水崇鏡
- Vol. 135 初めの一歩～ジャック・スパロウ 西野宏
- Vol. 134 クリニカルクエストに自らのデータで答える～iCRSTの支援を受けた臨床試験を終えて 市田晃佑
- Vol. 133 日常診療からの疑問と症例報告 山本翔太郎
- 特別号 飽和脂肪酸の結晶形成を介した新たな炎症惹起機構の発見 唐津直義
- Vol. 132 放射線治療の均てん化の活動を通して 若月優
- 特別号 多発性骨髄腫が感染をきっかけに悪化するメカニズムを発見 菊池次郎
- Vol. 131 「社会のための科学」とは 山邊昭則
- 特別号 iPS細胞のテラトーム形成を抑える方法を発見 菊池次郎
- Vol. 130 臨床薬理学部門・臨床薬理センターのご紹介 今井靖
- 特別号 希少糖アルロースはGLP-1分泌と求心性迷走神経を介した脳作用により食リズム異常を伴った過食・肥満・糖尿病を改善する 岩崎有作
- Vol. 129 第三期がんプロフェッショナル養成プラン-自治医大の特色を活かした教育と研究を 山口博紀
- 特別号 NLRP3インフラマソームを負に制御する新たなE3ユビキチンリガーゼARIH2を同定 高橋将文
- Vol. 128 サンバーンと末梢動脈疾患が増悪因子となった、熱中症により生じたcoma blisterの1例～地域からの発信 堂福美佳
- 特別号 肝虚血再灌流障害におけるインフラマソーム非依存性IL-1 β 産生機序の解明 佐田友藍
- Vol. 127 地域医療と基礎医学 大森司先生
- 特別号 滲出型加齢黄斑変性に対する抗血管内皮増殖因子治療において炎症性サイトカインの激減を報告 坂本晋一
- Vol. 126 学会発表と論文発表 山本翔太郎
- 特別号 眼底写真の撮影範囲外まで病状を推測するAIを開発 高橋秀徳
- Vol. 125 臨床の潤いとしての研究～世界への発信 篠崎聡
- 特別号 周術期出血に対する線溶抑制因子や血小板機能の重要性を明らかに 木村敦
- Vol. 124 臨床研究雑感 藤原寛行先生
- 特別号 GLP-1とインスリンは協働して求心性迷走神経を活性化:食後機能調節と糖尿病治療薬併用効果の機序 岩崎有作
- Vol. 123 多文化主義という暴カーカナダ先住民サーニッチにのつての言語復興、アート復興、そして格差 渥美一弥
- 特別号 CRISPR/Cas9による血友病治療にマウスで成功 ゲノム編集による先天性疾患治療技術開発 大森司
- Vol. 122 “閃き”を基礎研究者とともに英語論文として結実させる 根本大樹先生
- Vol. 121 地域医療学センターの展望～これからの目標 松村正巳
- Vol. 120 自治医科大学医学研究科・事業推進部会からの報告-第2回自治医科大学医学研究科 大学院生ワークショップ 高橋将文
- Vol. 119 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン がん治療のブレイクスルーを担う医療人育成 総合医・地域腫瘍学コース 地域におけるがん医療の内容・必要性とエビデンスの創出 藤井博文
- Vol. 118 リーシュマニア症研究～フィールドからラボへ、ラボからフィールドへ 加藤大智
- 特別号 個人の適した注意の向け方が急性期脳卒中患者のより正確な運動を導く 櫻田武
- Vol. 117 地域臨床教育センター 森田辰男
- Vol. 116 TMM講座開講-「地域医療を論文にする」 小林英司
- 特別号 転写制御因子 SIX1は歯根膜細胞の増殖を制御する一歯周組織の再生医療へ向けて 河崎立樹
- Vol. 115 特定行為に係る看護師の研修制度への自治医科大学看護師特定行為研修センターの取り組みと展望～第1期研修修了式を終えて 村上礼子
- 特別号 アディポネクチンの食欲作用は血糖値の高低により反転する 須山成朝
- Vol. 114 学会散歩:「この発表はなぜ分かりにくいのか?」と考えてみる 松原茂樹
- 特別号 唾液の無い蚊はマラリアにほとんど感染しない 山本大介
- Vol. 113 一歩前の、その先へ～高齢者の終末期医療代理意思決定の研究を通じて 牧信行
- 特別号 神経変性疾患の細胞質封入体でのDrb1タンパク質の役

- 割を解明 益子貴史
- Vol. 112 臨床研究をしようとする皆様へ 久米晃啓
特別号 薬の効き目を左右する受容体内在化には、細胞外にナトリウムイオンが必須である 興水崇鏡
- Vol. 111 社会人大学院を終えて—臨床研究医をめざして 濱崎秀崇
特別号 Ras を起点とした新規の発がんシグナルの発見 太田聡
- Vol. 110 Moodle を利用した医学・医療教育の最前線 浅田義和
特別号 脊髄小脳失調症 6 型の遺伝子治療：マウスモデルで成功 村松慎一
- Vol. 109 離島における臨床と研究～対馬の整形外科 永田純一
- Vol. 108 医師 15 年目での英語論文デビュー 伊田勉
- Vol. 107 人口知能 (AI) をコアとした総合診療支援システムの開発 石川鎮清
特別号 高脂肪食摂取が複数の行動に与える影響を解明 高瀬堅吉
- Vol. 106 小笠原諸島での小児アレルギー疫学調査～島嶼医療と研究 岡田祐樹
特別号 オキシトシンの社会記憶促進作用の解明 高柳友紀
- Vol. 105 離島勤務と社会人大学院の関わり 貝原俊樹
特別号 多発性骨髄腫の新たな抗がん剤耐性獲得機序を発見 菊池次郎
- Vol. 104 初めての英語論文作成～CRST は素晴らしい 小野原貴之
特別号 血中 GLP-1 上昇をターゲットにした六君子湯の食欲亢進作用を発見 田口昌延
- Vol. 103 地域医療の現場から初めての症例報告～CRST のすすめ 國友耕太郎
特別号 老化とくに骨粗鬆症の診断に有用な血中バイオマーカーの発見 小山大輔
- Vol. 102 自治医大で臨床も基礎研究も！ 金田るり
- Vol. 101 Acinetobacter 属の薬剤耐性機序～世界初の報告 遠藤史郎
- Vol. 100 これからの医学研究 永井良三学長
特別号 音を聞くための器官—内耳の作り方 鍵遺伝子 SIX1 の発現調節機構からわかってきたこと 佐藤滋
- Vol. 99 社会人大学院で学んで 水野裕之
特別号 白血病の早期発見・発症予防に役立つ遺伝子異常を発見 和田妙子
- Vol. 98 がんとうい研究について 園田英人
特別号 求心性迷走神経の満腹ホルモンインスリンによる活性化に対する、食欲ホルモングレリンの拮抗作用 岩崎有作
- Vol. 97 へき地医療現場で見いだされた 6 つの疑問とその解決に向けた研究の取り組み 中嶋裕
特別号 子どもらしさ？それとも、ADHD 症状？—個人レベルの脳機能検査で ADHD 診断手法の基礎を確立！ 門田行史
- Vol. 96 HTLV-1 感染は胃癌発症のリスクを低下させるのか？ 松本史弘
特別号 生体二光子イメージングにより新たな血小板産生過程を明らかに～インターロイキン 1 アルファにより制御される巨核球破裂型造血 西村智
- Vol. 95 心の研究～わかること、できること 高瀬堅吉
特別号 高濃度酸素暴露による急性肺傷害におけるパターン認識受容体 NLRP3 の新たな役割を解明 水品佳子
特別号 「末梢オキシトシン→求心性迷走神経による脳内への情報伝達→摂食抑制」経路の発見 岩崎有作
- Vol. 94 運動器超音波診療が大ブレイクしている理由 皆川洋至
- Vol. 93 地域医療における漢方治療 吉永亮
特別号 グルカゴンの求心性迷走神経への直接作用を介した脳入力経路の発見 岩崎有作
- Vol. 92 成人における侵襲性肺炎球菌感染症全国サーベイランス～参加のお誘い 丸山貴也
- 特別号 Mild blockade of Kv2.1 channel potentiates GLP-1's insulinotropic effects in islets and reduces its doses required for improving glucose tolerance in type 2 diabetic male mice. RAUZA SUKMA RITA
- Vol. 91 出会いより始まった共同研究 藤村昭夫
特別号 腎集合管細胞がインフラソームの構成成分 ASC を介した炎症惹起能を持つことを発見 駒田敬則
- Vol. 90 精神的ストレスは、消化性潰瘍の独立した成因であり、災害時潰瘍出血の危険因子となる：東日本大震災後の消化性潰瘍の増加とその特徴 菅野武
- Vol. 89 社会人大学院生として学んで 山内芳樹
特別号 インフラマソームで重要なパターン認識受容体 NLRP3 の新たな機能を解明 井上賢之
- Vol. 88 離島医療はおもしろい 白石吉彦
特別号 脳内 GSK-1 の摂食抑制神経経路を発見 桂田健一
- Vol. 87 自治医大生としての私の研究歴 松本雅則
特別号 ADHD 治療薬の効果を光トポグラフィ脳機能検査で可視化 門田行史
- Vol. 86 CPK 増加速度はマムシ咬傷重症度予測に有用である～地域での研究のススメ 園田英人
- 特別号 肥満に伴う脂肪組織の肥大や全身の代謝異常に関与する酵素 西村智
- Vol. 85 社会人大学院を終えて 佐野文彦
特別号 筋強直性ジストロフィーの骨格筋萎縮・筋力低下に寄与するスプライジング異常を発見 松浦徹
- Vol. 84 老化の治療を目指して～Klotho 遺伝子研究の発展 黒尾誠
特別号 ヘモグロビンのアロステリック転移の全容解明 柴山修哉
- Vol. 83 プライマリ・ケアにおける臨床研究～生活習慣介入研究に参加して 高村一紘
特別号 プロテアソーム阻害を介する新規抗がん剤を発見 菊池次郎
- Vol. 82 自治医科大学呼吸器内科意見交換会 杉山幸比古/地域医療と循環器病懇話会 2014-自治医科大学のさらなる発展を目指して 菊尾七臣
特別号 脂肪組織の炎症を制御する B 細胞を発見 西村智
特別号 T 細胞性急性リンパ性白血病におけるプロテアソーム阻害剤の作用機序を解明 小山大輔
- Vol. 81 部門紹介(脳機能研究部門) 平井真
- Vol. 80 初期臨床研修医の極意：良き mentor のもとで YES マンであり続けること 根本大樹
特別号 大脳皮質表面からのダイレクト脳血流リアルタイムモニタリング技術を開発 宇賀美奈子
- Vol. 79 総合診療内科の目指す診療・臨床教育 松村正巳
- Vol. 78 僻地学究生活 神谷浩二
- Vol. 77 リハビリテーションの未来～実践能力と教育のジレンマ 稲垣諭
- Vol. 76 ‘自治医科大学卒業生’として 畑野悠
- Vol. 75 無料統計ソフト EZR (EasyR) の開発と臨床研究での活用の奨め 神田善伸
- Vol. 74 医療機関へのアクセスに関する地域格差を測るものさしは？ 原田昌範
- Vol. 73 海外から見た日本—ロンドン留学で学んだこと 高橋将文
- Vol. 72 社会人大学院生を経験して～今後の課題・展望：鳥取の地域医療の充実に向けて 懸樋英一
- Vol. 71 内分泌の自己免疫疾患と炎症性疾(橋本病とメタボリック症候群) 木村博昭
特別号 アルツハイマー病の遺伝子治療：動物モデルで成功 村松慎一
- Vol. 70 初めての症例報告を経験して 佐藤新平

- Vol. 69 臨床研究支援センター設立 吉尾卓
- Vol. 68 iPS細胞研究：マウスからヒトへ 花園豊
- 特別号 中和抗体の阻害作用を回避できるAAV遺伝子治療ベクター投与法を世界で初めて開発！ 三室淳
- Vol. 67 Shrinking World における僻地での臨床研究 矢野裕一朗
- Vol. 66 新規内臓脂肪関連遺伝子TRIB2に見出された正の自然選択の証拠 中山一大
- Vol. 65 離島在宅緩和医療の改革を目指して～離島医療における臨床研究 舘野佑樹
- Vol. 64 学問のすすめ～優れた医師と研究者の養成 矢田俊彦
- Vol. 63 今、医療に求められるプロフェッショナルリズムとは～その概念・教育と省察的实践家 宮田靖志
- 特別号(2012年) 研究のすすめ 永井良三学長
- Vol. 62 地域から大学へ～どこでも研究フィールド 見坂恒明
- Vol. 61 社会人大学院を終えて 乗松祐佐
- Vol. 60 医師・研究者キャリア支援センターが開設されました/地域医療研究支援チームホームページの紹介
- Vol. 59 再生医療への挑戦～細胞移植による臓器障害の新規治療法開発を目指して 寺谷工
- Vol. 58 自治医大卒業医師を対象とした調査から描いた「地域医療に求められる医師像」 神田健史
- Vol. 57 バンコマイシンの初期投与量の簡易決定法(EJCMID)～CRSTの支援を得て感じたこと 牧信行
- Vol. 56 診断入門：ティアニー先生との出会い、教え 松村正巳
- Vol. 55 地域医療政策部門の紹介 大嶽浩司
- Vol. 54 いつかは臨床応用へ 柏田正樹
- Vol. 53 患者さんから教わった実践消化器病学～地域でのPPIによる上部消化管出血予防の意義 宮本真樹
- Vol. 52 研究留学のすすめ 富永薫
- Vol. 51 イノシシにおけるHEV調査～多地域共同研究のすすめ 佐藤幸浩
- Vol. 50 日本語がおかしい！「臨床研究と論文作成のコツ」出版とその後のCRST 松原茂樹
- Vol. 49 メディカルシミュレーションセンターからみる自治医大～医学教育の新たな試み 浅田義和
- Vol. 48 時間治療への招待～臨床研究のすすめ 藤村昭夫
- Vol. 47 減圧症治療経験を通じて医療集約に反論する～離島診療の場からの発信 佐藤敏秀
- Vol. 46 自治医大はどれほど地域医療に貢献しているのか？ 松本正俊
- Vol. 45 医療関係者と社会科学研究者の協働 古城隆雄
- Vol. 44 臨床医育成も研究医育成もともに大学の第一義的使命 桃井真里子
- Vol. 43 なぜ感染の関与していない心血管病で炎症が起こるのだろう？ 高橋将文
- Vol. 42 JMS IIプロジェクト、大規模地域ゲノムバンク/生活習慣介入研究について～自治医科大学の特性を生かした研究 岡山雅信
- Vol. 41 地域医療再生プロジェクト部門について 熊田真樹
- Vol. 40 PECOとFINER—研究事始め 大口昭英
- Vol. 39 日常臨床からの学位論文、そしてLancetへの道 深瀬和利
- Vol. 38 高齢者施設の入所者に対する23価肺炎球菌多糖体ワクチンの予防効果～臨床現場からの研究とは 丸山貴也
- Vol. 37 地域医療研究支援チーム(CRST)は何をするのか？ 松原茂樹
- Vol. 36 臨床疫学研究の手法をどのように学ぶか？～On the job training 竹島太郎
- Vol. 35 糖尿病の臨床研究 長坂昌一郎
- Vol. 34 社会人大学院生を終えて 海老原彰
- Vol. 33 認知症病型鑑別のための臨床評価法の研究 藤本健一
- Vol. 32 プライマリ・ケア研究：はじめの一步 鶴岡浩樹/社会人大学院進捗状況審査会 オープン・ラボ
- Vol. 31 心臓血管外科緊急手術での病院間連携について 三澤吉雄/社会人大学院(学内勤務者)制度の導入について 学事課
- Vol. 30 生体肝移植—自治医科大学肝移植チーム 水田耕一/私の「学位記」 戸島雅宏
- Vol. 29 2009年1月～「JAMP研究」始まる 日本人における自由行動下血圧追跡研究 菊尾七臣/地域医療学のススメ 松島大
- Vol. 28 がん遺伝子発見の研究新拠点開設 間野博行/社会人大学院進捗状況審査会 オープン・ラボ
- Vol. 27 Practice Based Research 一日々の現場から情報発信を 井上和男
- Vol. 26 疫学研究・臨床研究セミナー(短期集中型)開催 石川鎮清/社会人大学院を目指すにあたり 仲宗根秀樹
- Vol. 25 学ぶことはないと思う状況から学ぶということ—医療と文化人類学的視点について 渥美一弥
- Vol. 24 いまどきの漢方・これからの漢方—東洋医学の魅力と地域医療 村松慎一
- Vol. 23 全人的ながん医療の実践者養成について 藤井博文/社会人大学院生の現状オープン・ラボ
- Vol. 22 栃木県の自殺対策 中村好一
- Vol. 21 ヒツジの体内でサル細胞作製、移植用臓器「工場」への一步 花園豊/社会人大学院制度の普及を願って オープン・ラボ
- Vol. 20 地域医療後期研修プログラムアドバンストコースのご案内 三瀬順一
- Vol. 19 マラリア受精に不可欠なタンパク質特定、ワクチン開発に期待 松岡裕之
- Vol. 18 造血幹細胞移植に関連する臨床研究 神田善伸先生/地域医療現場の課題での学位取得 宇野秀之
- Vol. 17 研究対象としての地域医療 松本正俊
- Vol. 16 これからの医療安全対策について 長谷川剛
- Vol. 15 ダブルバルーン内視鏡による新たな世界の開拓 山本博徳
- Vol. 14 学長付医師(地域支援)について 高久史麿学長/社会人大学院入学半年を過ぎて 藤井博子
- Vol. 13 女性医師支援センターの開設について 塚原太郎
- Vol. 12 新時代の地域医療学を創る人材の包括的養成について 古川雄祐
- Vol. 11 とちぎ子ども医療センター開設1周年を迎えて 桃井真里子
- Vol. 10 肺がん新しい原因遺伝子を発見 間野博行
- Vol. 09 医療技術トレーニング部門開設 小林英司
- Vol. 08 国内初のパーキンソン病遺伝子治療実施 中野今治
- Vol. 07 JMSコホート研究の概要 石川鎮清
- Vol. 06 社会人特別選抜試験の募集対象者及び入学後の処遇について 小澤敬也
- Vol. 05 医学という学問とその教育 伊東紘一/学位取得を目指す先生方へ 野崎良一
- Vol. 04 自治医科大学大学院学外講師に就任して 清水宏明
- Vol. 03 社会人大学院の持つ意義について 蘇原泰則/社会人大学院入学によせて 手塚憲志
- Vol. 02 社会人大学院生を迎えて 渡辺英寿/社会人大学院入学によせて 植田香
- Vol. 01 ご挨拶 高久史麿学長/オープン・ラボ ニュースレターの配信にあたって 小澤敬也